

目標達成計画

作成日: 平成29年10月 27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	入居者の高齢化に伴い、食事作りや準備に参加出来ない利用者が多くなってきている。散歩をかねて行っていた買い物も、相次ぐ近隣スーパーの閉店により、行くことができない状況となっている。	ホームの畑で収穫した野菜と一緒に洗うなど、また、買い物には行けませんが献立づくりに参加してもらうようにする。	季節ごとの収穫物を並べながら、「この材料を使って一番おいしいものはなんでしょうね？」などと話しながらメニュー作りをしていき、すべての利用者が、何らかの形で食事作りに参加し、食事を楽しむことが出来るように支援していく。	12ヶ月
2	6	安全面から考慮した場合、拘束という意識がないままに、結果的に拘束を行っている場合が存在している。(ベット柵など)	スタッフ間での、拘束に対する共有意識の強化	今まで以上に、スタッフ及び家族との話し合いを増やし、家族の思いや、スタッフの心配以前に、拘束を受ける側の利用者の立場に立って考える。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。